



工場運営にとって安全は最優先。日々
の安全パトロールは欠かさない

こんどう しんいち
近藤 眞一氏

(神鋼鋼板加工社長)

現職に就いて約1年半。神戸製鋼所在籍中も、
キャリアの多くを厚板に関わってきた。

建築需要の端境期やコロナ禍で取り巻く環境は
厳しいが、それでも手を緩めず切板製品を自動で
片づける業界初のハンドリングシステムを立ち上
げたほか、デジタルサイネージ(多機能モニター)
を活用した「生産状況の見える化」などに取り組

んだ。現場の意識・働く姿勢が
高まるなど手応えを感じており
「東京五輪後に首都圏再開案
件が再始動した際、導入効果を
最大限に発揮できるように、全社
の総力を挙げて需要のヤマに立
ち向かいたい」と前向きだ。

バリバリの現役にとって「還
暦」に感慨や思い入れはなく
「通過点のひとつですね」。

(昭和36年4月21日生)

来たる需要回復に「備え」